

水生生物調査 2021年 7月～12月

上瀬谷A地点・田んぼ

月 日 時刻	7月17日(土)14:15		8月21日(土)14:05		9月18日(土)14:35		10月16日(土)		11月20日(土)14:15		12月30日(木)14:55	
場所	A	TB	A	TB	A	TB	A	TB	A	TB	A	TB
気温	31.8	2.2	30.2	27.1			24.1	22.6	18.8		13.4	11.3
水温	20.3	19.3	20.1	19.3			18.8	18.3	16.4		14.2	10.8
PH	7.1	7.1	6.9	6.7			6.8	7.3	6.7		6.8	7.4
1 ヨコエビ			○				○				○	
2 ミズムシ(ダンゴムシ型)							○		○		○	
3 ミズムシ(ボート型)	○						○		○			
4 サホコカゲロウ	○											
5 カクツツビゲラ												
6 ユスリカ	○		○	○			○					
7 ガガンボ												
8 アメンボ		○		○					○		○	
9 プラナリア	◎		○				◎		◎		○	
10 ミミズ											○	
11 イトミミズ												
12 ミジンコ												
14 ハイイロゲンゴロウ	○						○					
15 ガムシ	○		○									
16 ヤゴ(シオカラ等)		○										
17 カワニナ	◎	○	○	○			◎	○	◎	○	◎	○
18 マルタニシ												
19 シジミ							○				○	
20 サカマキガイ												
21 ドジョウ												
22 クロメダカ												
23 ヘイケボタル												
24 ヌマエビ	○	○		◎			○	○	○	○	○	
25 スジエビ												
26 ザリガニ	◎		◎				◎		◎		○	
27 サワガニ							◎		◎			
28 オタマジャクシ	○		○									
29 カワモズク												
30 アオミドロ			○								○	
31 サヤミドロ												
32 その他				マメシジミ			マメシジミ		マメシジミ			
備考	A: 水生生物は強い流れの中で、底にある砂利や壁面に着いた藻の中で生息している。また水路に繋がる田んぼでは子供たちがとても喜ぶハイイロゲンゴロウが捕集できた。畑ビオトープに移入し復活させるようにしたい。	A: 7月同様に水流が速く生息する生物は少なかつた。期待していたハイイロゲンゴロウは捕集できなかつた。この種は空中を飛べるので他の場所に住処を変えたのだろうか。畑ビオトープはザリガニの繁殖が著しい。					A: 田の稻刈りが終わり水門からの水が減少し、流路の底に泥の層ができることで、それに適した生物が増えた。白色をしたプラナリアの群には驚かされた。畑ビオトープで1匹だけハイイロゲンゴロウが観察できた。	A: 水温・水温の下降によって水生生物の活動は鈍くなつて、伏流水が少しづつ水路に流れ込んでいるが止水状態になりつつある。マメシジミが4個体確認できた。2mm弱の体長だが目が慣れるに従い発見できるようになった。	A: 水路には緩やかな流れがある。水門が開けられたままの状態で、20日以上纏まつた降雨がないので、この水はU字溝のつなぎ目からの伏流水であろう。水路全体にアオミドロが繁茂し、カワモズクは観られず、水生生物は種類も個体数も少なかつ			